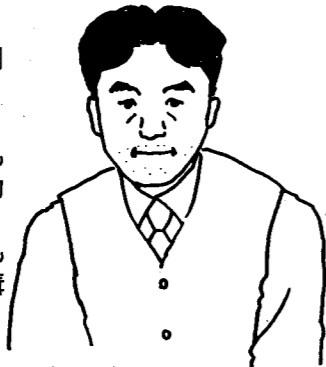


テーマ:「金沢の中心市街地を考える」

ディベート討論会

中心市街地活性化派

- ・金沢市都市計画課で12年目
- ・趣味と実益を兼ねて金沢大学で土地利用コントロールに関する研究に携わり、平成11年3月に工学博士号を取得する
- ・金沢という街への思い入れから、今後もまちづくりに関する仕事に携わり個性的な金沢をつくっていきたいと考えている
- ・将来の環境問題や社会情勢の変動にも対応できる、効率的で機能的な都市構造の実現が大きな課題だと思っている



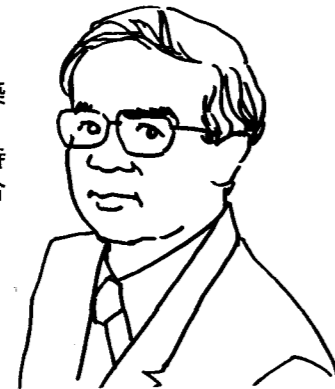
木谷弘司
(リーダー)

- ・自宅で「どんぐりこども造形教室」を主宰する傍ら、金沢エコライフ工房ディレクターやコープいしかわ理事などを勤める
- ・金沢美術工芸大学に入学して以来、そのまま金沢の中心部に住み続けるいわば遠所者、神奈川県出身
- ・「中心部の“歩けるまちづくり”が、地球温暖化防止に有効」が持論



青海万里子

- ・不動産会社の社長を勤め、自身の建築設計事務所も持つディベロッパー
- ・都心居住を促進する“金沢市まちなか特定優良賃貸住宅供給促進制度”の適合第1号マンションを長町に建設
- ・新生せせらぎ通り商店街の初代会長、まちの再生・賑わい創出に尽力



田川豊

- ・堅町商店街で化粧品店を経営する傍ら、商店街の理事長を長く勤めた
- ・賑わいづくりの仕掛け人であり、“元気なタテマチ”を作った功績は大きい
- ・委員会やシンポジウムなどの委員を数多くこなし、まちのご意見番として活躍中
- ・店舗兼住まいに居住し、子育てや買物、移動など中心部の便利さを実感
- ・堅町劇場支配人を勤める



山岸淑子

コーディネーター



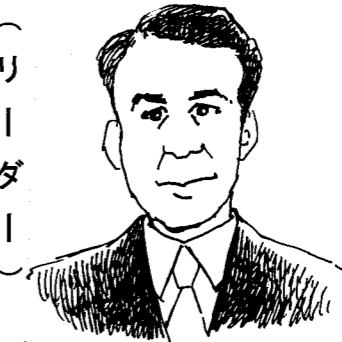
高山純一
K. CATフォーラム実行委員会代表
金沢大学工学部教授

V

S

郊外開発推進派

- ・七尾、金沢、高岡にある5社の社長または役員を兼務
- ・鳥屋町に居住し、週の半分は仕事や休日の家族サービス等で金沢ですごす
- ・石川県にUターンする以前は、大手建設会社に勤務し、京都、東京などに住んでいた経験もあり
- ・海外への視察経験も数多くあり、先進地のまちづくり事情にも詳しい



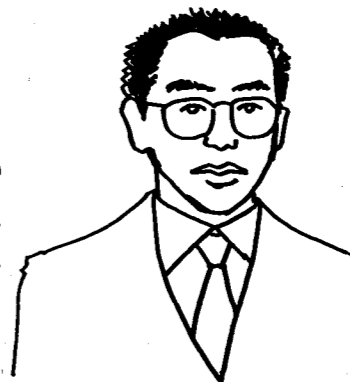
北原良彦
(リーダー)

- ・美大を卒業してから自営の看板業を手伝いながら、自身の塑像作品を作成している
- ・日展、日影展等出品を続ける中、生まれ育った金沢の未来と芸術について日々考え中
- ・買物等はもっぱらマイカーを使用し郊外店を利用することが多い
- ・中心部へは美術館へ行くか、夜飲みに行く時以外はあまり行かない



清水潤子

- ・ビル管理会社の役員を勤める傍ら、金沢青年会議所の2000年度地域開発委員会委員長、2001年度青少年開発室室長を勤めるなど、多方面で活躍中
- ・以前は泉本町に住んでいたが、現在は郊外の南四十万に居住



東郷博樹

- ・区画整理のスペシャリストで、東京方面でいくつもの区画整理を手がけた経験をもつ技術者
- ・大手建設会社の金沢営業所長の職にあり、金沢へ赴任して6年
- ・日本全国を渡り歩く転勤族であり、都市を見る目に長けている
- ・施設立地に関する事業者のニーズに詳しい
- ・単身の今、買物は駅近くのスーパー



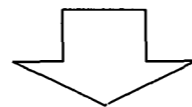
本行和男

先攻

一、これからのまちに望まれること

後攻

< 45分 >

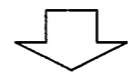


後攻

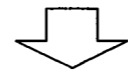
二、施策と効果

先攻

< 50分 >

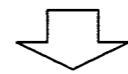


フロアとの意見交換 < 5分 >



休憩 < 15分 >

中心市街地活性化派か? 郊外開発推進派か? 会場投票



高山行司のまとめ < 15分 >